

# 情報連絡員報告総括表(令和2年2月分)

三重県中小企業団体中央会  
連絡員総数 40名  
回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況								
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化						
製 造 業	食料品		3	1	1	3		1	3			4			2	2		3	1		4			4			2	2						
	繊維工業		1	2	1	2			2	1		2	1		2	1		2	1		3			3			1	2						
	木材・木製品			1			1		1				1			1		1				1		1				1						
	紙・紙加工品			2	1	1		1	1			2				2		2			1	1		2				2						
	印刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1							
	化学・ゴム																																	
	窯業・土石製品	1		2		3			3			3			1	2		3			1	2		3			1	2						
	鉄鋼・金属			1			1		1			1				1		1				1		1				1						
	一般機器			3	1	1	1		2	1		2	1			3		2	1			3		3				3						
	電気機器			1			1		1			1				1			1			1		1				1						
	輸送機器			1			1		1			1				1			1			1			1			1						
	その他																																	
小計		1	5	14	4	11	5	2	16	2		17	3		6	14		15	5		10	10		19	1		5	15						
非 製 造 業	卸売業		1	1		1	1		2			2			1	1		2		X				2			1	1						
	小売業		3	3	2	3	1	1	3	2		4	2		3	3		4	2							5	1		3	3				
	商店街			1		1			1				1			1			1								1			1				
	サービス業		1	4	X				2	3		5			1	4		3	2								4	1		2	3			
	建設業		3	1							4			3	1		3	1					3	1					4			3	1	
	運輸業			1							1			1				1					1							1			1	
	その他		1								1			1			1						1						1			1		
小計			9	11	2	5	2	1	14	5		16	4		9	11		14	6				17	3		10	10							
合計		1	14	25	6	16	7	3	30	7		33	7		15	25		29	11		10	10		36	4		15	25						

## 最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成31年2月～令和2年2月)

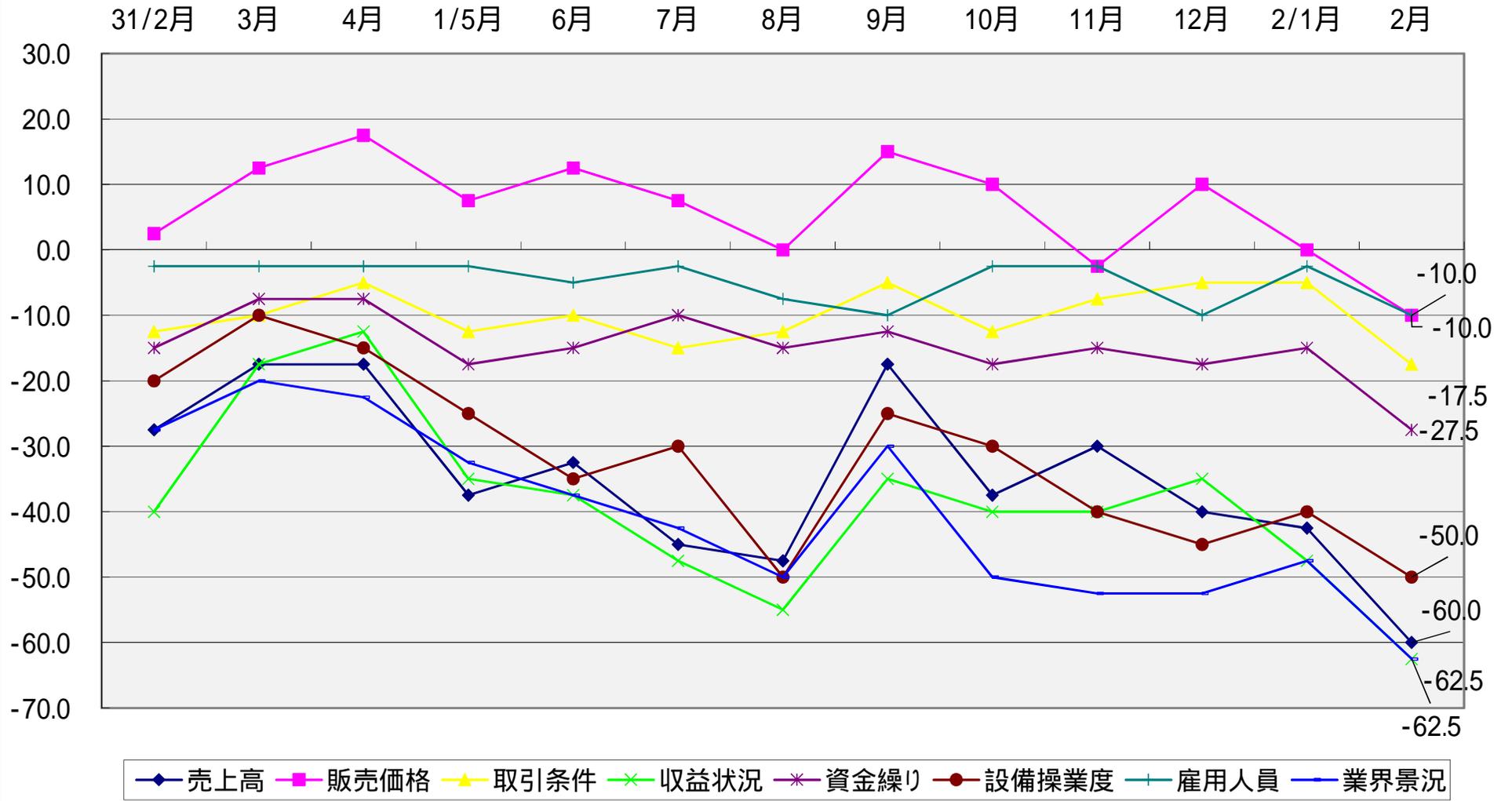
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	31/2月	3月	4月	1/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2/1月	2月	増減
売上高	-27.5	-17.5	-17.5	-37.5	-32.5	-45.0	-47.5	-17.5	-37.5	-30.0	-40.0	-42.5	-60.0	-17.5
販売価格	2.5	12.5	17.5	7.5	12.5	7.5	0.0	15.0	10.0	-2.5	10.0	0.0	-10.0	-10.0
取引条件	-12.5	-10.0	-5.0	-12.5	-10.0	-15.0	-12.5	-5.0	-12.5	-7.5	-5.0	-5.0	-17.5	-12.5
収益状況	-40.0	-17.5	-12.5	-35.0	-37.5	-47.5	-55.0	-35.0	-40.0	-40.0	-35.0	-47.5	-62.5	-15.0
資金繰り	-15.0	-7.5	-7.5	-17.5	-15.0	-10.0	-15.0	-12.5	-17.5	-15.0	-17.5	-15.0	-27.5	-12.5
設備操業度	-20.0	-10.0	-15.0	-25.0	-35.0	-30.0	-50.0	-25.0	-30.0	-40.0	-45.0	-40.0	-50.0	-10.0
雇用人員	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5	-5.0	-2.5	-7.5	-10.0	-2.5	-2.5	-10.0	-2.5	-10.0	-7.5
業界景況	-27.5	-20.0	-22.5	-32.5	-37.5	-42.5	-50.0	-30.0	-50.0	-52.5	-52.5	-47.5	-62.5	-15.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移



## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
食料品	漬物	生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、漬物業者自らの原料野菜の生産や県外からの原料野菜の確保を進めている。暖冬の影響により冬野菜の生育が進み、生産過剰となっている。外国人技能実習生を対象とした外国人技能実習評価試験を6月に実施することになり、県内2社の実習生が受験を予定している。
	醤油味噌	2019年全国の醤油出荷量は744,263kℓで対前年98.3%、三重県は22,335kℓで同89.5%（7位）である。廃業があり、全国では現在1,100社位が操業となっている。全国の味噌出荷量は404,832tで同99.9%、三重県は5,656tで同101.1%（11位）である。新型コロナウイルスにより、マスクやアルコールがなくて困っている。学校給食のキャンセルがあり、1社では食材、調味料の売上が200万円位減る見込みである。
	豆腐	2月後半より、新型コロナウイルスの影響で外食産業への豆腐、油揚げの納品が激減している。
	製麺	2月は新型コロナウイルスの影響で全体的なイベントまで中止になるとは思っていなかった。この影響がいろんな形で起きている。何とか乗り切れる方法を考えていきたいと思う。3月はまだ状況が悪化すると予想している。今は耐え忍んで次の対策を打っていくつもりである。
繊維工業	テントシート	新型コロナウイルスの感染防止のためにイベント等の中止が相次ぎ、この業界にもどこまでの影響があるかが心配である。
紙・紙加工品	紙器段ボール	新型コロナウイルスの感染拡大により、微妙に経済環境が減退気味である。工業関係のお得意先では、部品が中国から入荷しない影響で製造ラインが一部ストップするという話も出ている。先月にも記載したが、医療関係の段ボールは出荷が増加している。
	古紙	2月の取扱い重量は、前年比：段ボールは約98±5%、新聞、チラシは約93±5%、雑誌、雑紙、その他を合わせて約96±5%と思う。新型コロナウイルス感染症により会議・会合・イベント等が軒並み中止で、人や車の往来も少なくなったように思う。マスクや殺菌剤、体温計等の生産が間に合わず店舗売り切れで、2月後半からはレトルト、インスタント食品とお菓子等が品薄に加えて、トイレットペーパー、ティッシュペーパー等の家庭紙がSNSのデマ情報から配送能力不足で店舗在庫切れになり、その結果、特需で一時的な在庫一掃になりそうである。製紙会社様の製紙原料古紙の購入量は3月決算対策を含め平均20%程のマイナス発注が続いており、国内に売れない古紙は国内古紙価格の半値以下で赤字輸出をしている。古紙の持ち去り行為やゴミの不法投棄等は未だに散見され、人口減少や担い手不足等を直視すると、社会構造が激変しつつ二種化が更に進む事が予見されて、生き残りの道は厳しく映る。規模や業種によると思うが、現状の会社経営は冬山や自然林の足元を探り、道をつくりながら登るように思える。
印刷	印刷	例年通り年度末を迎え活気が出てきた。しかしながら官公庁等の入札は、相変わらず厳しい競争が続いている。また、3月末までに納品の案件が非常に多く、新年度に向けての努力が必要。
窯業・土石製品	伊賀焼	伊賀焼伝統会館への来館者数（団体のキャンセルはあるものの）陶芸教室の人数は増えているが、売上については微増であった。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、当館も2週間程休館となるため、今後が大変憂慮される。
鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は1月と比べ全体的に減少傾向にあった。自動車関連部品は減少した企業が増加した企業をはるかに上回った。産業機械関連は減少した企業が大半であった。半導体関連部品は増加が減少を上回る結果となり、徐々にではあるが増加傾向にあった。但し、新型コロナウイルスの感染拡大により、自動車、産業機械、半導体全ての業種に影を落とす事が懸念され、今後、拡大するか終息するかにかかっている。
一般機器	四日市	新型コロナウイルスの発生で世界中がパニックになっている。経済活動や株価にも影響が出て、学校まで一斉休校になってしまった。景気の低迷は避けられない。当組合員の一部にも被害が出始めた。
	津市	全体的に売上は減少。得意先の在庫調整や自動車業界の受注減が要因である。組合の中でも雇用調整を行っている会社もあり、明るい話題がない。新型コロナウイルスも騒がれるようになり、取引先への訪問も延期した。海外の自動車産業の生産停止もあるので、2～3ヶ月遅れて影響がでてくる恐れがある。
	伊勢	自動車業界に限らず全産業に景気の悪化がみられる。新型コロナウイルス感染が深刻な状況になり、先行きが見えず困っている。
電気機器	鳥羽	今期は期末発注が非常に悪く、例年の10～20%ダウンである。景気が悪い方向に向かっている。
輸送機器	鈴鹿	新型コロナウイルスの影響に関して、当組合員企業のうち設備製造関連や試作製品関連では今のところまだ特に影響は出ていないが、今後の見通しについては全く不明である。量産部品関連では、まだ影響が出ていないところもあれば、他社供給部品の不足により一部の車種で生産調整がかかっているため売上が大きく減少している組合員企業もあり、状況は様々である。中国に子会社工場がある組合員企業では、中国の工場からの部品供給が十分にできない状況であり、応援生産の立ち上げが始まっている。

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
小売業	青果	野菜前半：暖冬で野菜は全体的にお値打ち。特にキャベツは寒玉、春玉とも安い。またほうれん草、レタス、大根は安値。一方、白菜、ブロッコリーは入荷が減ったため、やや値上がりぎみ。野菜後半：新型肺炎の流行防止のため、各地でイベントや宴会等が相次いで中止になり、業務関連の消費が減り、野菜全体にも影響がでてきている。じゃがいもは北海道産の入荷が多く、値下がり。また新じゃがいもも鹿児島産が入荷されてきた。果物前半：いちごの作柄が不安定でこの時期としては入荷が少なめ。青森産りんごは前年よりやや少なく価格は高めである。デコポン、はるみ等の柑橘類は今年は出来がよく甘くて美味しい。果物後半：いちごの入荷が増え、値を下げてお買い得になっている。今年の柑橘類は例年より酸味抜けがよく、甘みが強い。デコポン、はるみも入荷量が増え、値頃になってきた。
	自転車	この業界は、年が明けて調子が上がってきたとは未だ言える状態にはなっていない。そろそろと思っていた矢先、新型コロナウイルス問題が降ってわくように勃発した。目に見える影響が現れていないが、覚悟を決めなければならない。少し気がかりなのは、最近市中に行き渡り始めたレンタサイクルのハンドルグリップやサドルが感染ルートの要因のひとつになりかねない。
	電器	2月度は、端境期であるが、10月以来の消費税増税の反動が続き、いっそう厳しい状況であった。そこで、三重県電器商業組合として、全国電商連が進める創エネ・蓄エネ・省エネに関する知識を持つ資格として「スマートライフコンシェルジュ」の認定講習会を実施した。特に今回は電器店の店主夫人や従業員など女性スタッフ28名が参加しての講習会を初めて実施し、今後の商売の領域を広げていただこうにすすめた。
	石油	2月の燃料油販売数量については、前年対比燃料油販売全体として7%前後の減販状況であった。原油価格については、下落傾向の影響であったが、燃料販売数量の増販まで至らなかった。さらに新型コロナウイルスの影響により、物流関係の低迷と共に経済状況の悪化において燃料販売に影響が出始めている。灯油販売を2月に期待したが暖冬の影響により期待できなかった。
	スポーツ	2月は一年で一番スポーツに関する行事が少ない月である。個々のお客様への販売業務はあまり忙しくない。ただ、来春の新入生の体育服装の受注業務があるので、月末から来月にかけて忙しくなる。
商店街	熊野市	毎月第4日曜日開催の朝市イベントは、毎年夏の花火大会でボランティアで協力していただいている学生ボランティアとのコラボ企画として開催。約30人の学生がイベントを協力し、ECOをテーマに開催された。今後も継続して開催していく予定となる。また新型コロナウイルスの影響は徐々に大きくなり、観光産業をはじめ各業種においても厳しい状況になりつつある。
サービス業	旅館	1月下旬より月初めには新型コロナウイルスによる減収について各方面より情報収集依頼があったが、当初三重県では業態・地域により極端に影響に差があった。インバウンドの比率の高い施設は対前年30%~50%減との報告があったが、インバウンドの比率の少ない施設は対前年10%~30%位の減とも言われていた。もともと三重県はインバウンドの弱いところであるため、インバウンド先進県に比べれば影響は少ないが、このような状況が長くなり、日本人のお客様の出控えによるツーリズム産業全般が衰退しないよう、あらゆる振興策をとる必要がある。
	測量	相変わらず、年度内の残務を忙しくこなす毎日である。
	警備	2月後半から、新型コロナウイルスの発生により、イベント等がほとんど中止となり、警備のキャンセルが続出した。3月度は更に懸念される。
建設業	総合工事業	2月期は令和元年度補正予算を財源とする公共工事が発注された事から、前年同月並みの事業量が確保された見込みである。また補正予算規模は前年度規模が確保された見込みであり、業界の景況についても不変と思われる。
	内装工事業	2月は前年同月比で若干マイナスだった。例年年度末は売上等高い水準を指す傾向であるが、消費増税と新型コロナウイルスの影響で個人等の消費が減少しているため、今後どうなるかは非常に予測困難である。
	水道工事業（亀山）	新入社員、中途採用での入職がなく、従業員の高齢化が進んでいる。ハローワーク等には求人募集をしているが、入職がない。
運輸業	トラック	新型コロナウイルスによる企業の低調感がみられ、内需の落ち込みを感じる。

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
----------	-----------------------	--

## 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	補助金制度を勉強し、少しでも活用するよう組合員にトライしてもらいたいと思う。当社もOA機器を見直していく事があり、この制度を利用していきたいと思う。
一般機器	四日市	政府の動きが後手にまわっている。検査機関の対応も遅れている。早期の対策を強く望む。
小売業	スポーツ	クラブ活動で使用したユニフォームや道具代金が未払いのまま卒業していく生徒が思いのほかいる。請求書発送のために、学校事務に生徒の住所を尋ねても教えてもらえず、クラブ担任に支払依頼をしてもなかなか動いてくれず、困っている組合員もいる。
サービス業	旅館	(1) 政府系金融機関による緊急融資を無利子にし、融資枠を当該施設の月商の2ヶ月分以上としてほしい。無担保枠の増やしてほしい。(2) 過度な自粛とならないように適切な情報提供をお願いしたい。
運輸業	トラック	企業の経営安定化支援対策を講じられたい。